

姥ヶ山自治会報

第 74 号

発 行 者
姥ヶ山自治会
吉岡富三雄

印 刷
新潟マイクロコンピュータ株

平成二十七年九月三十日現在
姥ヶ山自治会動向
世帯数 一、四二〇戸
班 数 一一五班

当地区周辺の 公共事業について

姥ヶ山自治会 会長 吉岡富三雄

現在、我々の地区周辺には大きな公共事業が幾つか進められています。

その中で一番身近なところでは姥ヶ山インターチェンジの改良工事で、これは市道交差点部の慢性的な交通渋滞の影響で交通事故が多発していることから、近接する交差点位置を変更し滞留長の確保を行いインターチェンジ降り口や本線での事故抑制を目的とした事業で、既に東側の仮設道路が供用されていますが、今後は新たに架けられた橋桁側に車両を通行させ本線を掘って橋を架け、下の道路を現在の二倍の広さに弁天線まで拡張すると共に本線から下りる道路の本工事が行われます。全体の工事の完成予定は平成三十年頃の予定ですが道路拡幅に伴う立ち退き問題があり明確な時期は出ていません。

次に鳥屋野潟整備実施計画ですが、大半が海抜ゼロメートル地帯の鳥屋野潟周辺の地域を、集中豪雨などによる浸水被害から守るため、潟の堤防(湖岸堤)の整備に関する基本事項を取り纏めるもので平成二十五年九月に実施計画が策定されています。その後、湖岸堤整備による環境への影響を出来るだけ抑えるための調査や生息が確認された重要種の保全対策、水質、騒音、振動対策等が検討されていますが、築堤に関しては平成十年八月四日の記録的な大雨は一時間雨量が97ミリで、この時に床上浸水した

家屋が593戸でしたが、これが築堤計画の参考とされています。整備を行うにあたっては三つのゾーンに分けられ次の計画が示されています。

「ふれあいゾーン」

様々な自然や歴史、

人と人とのふれあいの場

上沼地区、小張木地区で現在では潟に沿った道路がなく又ヨシや湿性草地在が広がっていることにより鳥類が多く見られ集団繁殖地となっている所で、整備においては植物、鳥類等の環境に配慮しつつ築堤及び治水容量を確保するため陸化し農地等となっている部分を掘削し新たな湖岸部を創出する。背後地は道路・公園計画があります。

「まなびのゾーン」

教養施設(自然科学館など)を

中心に自然について学ぶ場

女池、桜木町地区で湖岸に沿ってヨシが優占する湿性草地で潟沿いの築堤が一部必要な所で湾入部には中ノ島が形成されておりコハクチョウやカモ類等、水鳥の休息場となっている。背後地は公園整備が計画されていて潟沿いを散策できる空間となります。

「やすらぎゾーン」

人々が自然の中で

ゆったりと過ごせる空間

神道寺、紫竹山、長潟地区で沿岸は桜並木となっており鳥屋野潟を代表する景観をなしていることから、桜並木を保全し潟沿いを散策できる空間とする。長潟地区はヨシが優占する広大な湿性草地在が形成、多様な動植物生育・生息環境となっているため水際の植

生を極力保全しつつ陸化が進展している弁天橋付近では治水容量の確保のため掘削し、新たな湖岸部を創出します。この事業全体の完成予定は今後十五年から二十年とされていますが完成時には潟の周遊道路8・6キロが出来、散策やラニングの恰好の場となりそうです。



平成二十七年度活動報告

(運動会とラジオ体操)

文化育成部長 高嶋千明

十月十一日(日)、恒例となりました町民大運動会を開催しました。

今年は当初グラウンドでの実施を考えた準備を行っていましたが、前日夜からの雨により急遽体育館での実施となりました。

当日は予定していた三百人を上回る参加者があり大変盛り上がりました。ただ、運営面で参加者が多いのは嬉しい悲鳴でしたが、参加賞が不足するというトラブルが発生したことは、今後の課題となりました。

競技内容では、競技の盛り上がり方を考慮し、大玉送りとバケツリレーの順番を変更しました。これからも競技内容について、少しずつ工夫をしていけたらと考えます。

また、景品については、昨年同様に新潟市農協様より新米の差し入れがあり、福引に使用させて頂き、参加者の皆さんも大変喜んでいました。

今後参加者の皆さんに楽しんで頂ける運動会にしていけたらと思います。ご協力頂きました役員の皆様に感謝いたします。

夏休みラジオ体操は、七月二十七日(八月十二日の間(土日除く))、桜が丘小学校と諏訪神社で行いました。

桜が丘小学校では、耐震工事が無かつた為、前庭で実施できました。また、諏訪神社の参加者が多かった事も今年の特徴でした。

今年度は天候に恵まれ中止は一日もありませんでした。

夏の朝から、子ども達とラジオ体操をするのも気持ちのいいものです。ぜひ自治会の役員以外の皆さんにも参加して頂きたいと思います。



夏休みラジオ体操



町民大運動会